

福島県知事

内堀 雅雄 様

要 望 書

避難者と市民との交流施設の整備について

平成27年5月18日

南相馬市長 桜井 勝延

東日本大震災及び原発事故から4年2か月が経過した現在、本市には市民も含め、1万人を超える方が応急仮設住宅や借り上げ住宅において避難生活を送っており、安定した生活環境の確保が喫緊の課題となっております。

また、市内各地には、県営の復興公営住宅927戸の整備が進められ、ふる里へ戻る市民に加え、本市に多くの方が移り住むことが見込まれます。

このような中、今後とも、避難されている方々と地域の住民が安心して過ごしていくためにも、地域住民との融和や、絆を感じる様々な交流活動が必要となります。

今般、本市において、避難されている方々や市民との交流の場、コミュニティ形成の場となる交流施設等の整備を検討しているところです。

今後、市民の帰還を加速化し、さらに避難を余儀なくされた方々が安心して暮らせる環境を実現するためには、本市の交流施設等の整備に対する県のより一層の支援が必要であることから、これら取り組みに対する財政支援を要望いたします。

以上